

第115回東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

平成30年 5月25日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会 第115回船員部会

日 時 平成30年5月25日（金） 13：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員：高橋（真）部会長、増田部会長代理、  
佐々木委員、森委員  
労働者委員：熊谷委員、高橋（雅）委員、津田委員  
使用者委員：齋藤委員（欠席）、白幡委員、平岡委員  
運輸局：畠山海事振興部長、丹藤海事振興部次長  
佐藤船員労働環境・海技資格課長  
柳田船員労政課長、村林労政課専門官  
大友労政係長

## 議 題

- （1）管内の雇用等の状況について
- （2）その他

## 配付資料

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料（3月分）
- 資料2 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料3 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料4 新規求人・求職数（全国）
- 資料5 有効求人・求職数（全国）
- 資料6 有効求人倍率（東北管内）
- 資料7 有効求人倍率（全国）
- 資料8 船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料
- 資料9 平成29年度水産高校等卒業者就職等状況
- 資料10 新聞情報

◎開会

【丹藤海事振興部次長】

〔第115回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

〔柳田船員労政課長から資料1から資料7に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ただいまの報告について何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

続きまして、議題（2）その他に入ります。最初に資料8、9について事務局から説明をお願いします。

(2) その他

〔柳田船員労政課長から資料8、9に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ただいま事務局から最低賃金の改正に関する検討のための資料と、水産高校の卒業生の就職先についての資料の説明がありましたけれども、最賃に関してはこれから検討されるわけです。今のところこういう資料を集めているということでございます。

それでは、今の説明に関して何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

【高橋（雅） 労働者委員】

水産高校の卒業生の就職状況の調べについて、2枚目の卒業者とこの船員の就業者の数字ですが、例えば八戸水産高校の卒業生数が120名ですよね。それと、宮城県の気仙沼向洋高校の卒業生が35名とあります。要は、船員を育てるための学科の部分の部分を指しているのか、卒業生全体の部分で合計を出しているのか、そこを

統一していただければ、なおいいのかなと思います。

**【柳田船員労政課長】**

全校生徒ということではなく、海洋系の学科の数字で拾っています。

**【高橋（雅）労働者委員】**

例えば八戸水産高校だと全部海洋関係のところではないですよ、製造関係のところも。

**【柳田船員労政課長】**

水産加工関係もあります。海を目指すという科ではないところもあるので、そこは抜いています。

**【高橋（雅）労働者委員】**

向洋高校もそういう科があるのではないですか。そうすると35名という数字ではないのでは。

**【佐藤船員労働環境・海技資格課長】**

向洋高校は情報海洋科が航海コースなので、この数字になってくるのかなと。

**【柳田船員労政課長】**

学科としては、分けているところは分けています。

**【高橋（真）部会長】**

学校のほうで分けている部分でやっているというだけの話なのですか。

**【柳田船員労政課長】**

そうなります。

**【高橋（真）部会長】**

もしこの船員教育という学科ではない、例えば水産加工関係の学科を卒業した生徒が、船員を目指した場合、これには反映されないということですか。

**【柳田船員労政課長】**

違う科から船員になった場合ですか。

**【高橋（真）部会長】**

全校生にしたほうがいいと思います。私も県立高校の教員を大分前にやりましたがけれども、科で必ずしも卒業生がそこに行くとは限らないので。例えば水産系の学校なり、農業系もそうですけれども、幾つかの科があって求人が来た場合、そこに行きたいとなれば移動するので、必ずしもこの科だからここに行くこと

いうふうに思っているのはこっち側で、子供たちのほうは移動します。

だから、分母は卒業生全体にしておいて、その中でどの位いたかとしたほうが多分実数を計れるのではないか。科にすると、さっき高橋委員がおっしゃった、ほかから動いた分が入らなくなる気がします。

**【佐々木公益委員】**

ただ、ずっとこの基準でやってきているので、そこは両方やってみてということはあるかもしれません。

**【柳田船員労政課長】**

調査をかけているベースが東北だけではなく全国ベースの調査になっていますので、調査のかけ方というのか、数字の項目を変更につきましては、再度検討してみます。

**【高橋（真）部会長】**

13年から29年と、この16年間の間で震災があつて、気仙沼向洋自体が被災しています。科自体をそもそも存続しているかどうかというのものもあるし、県のほうで改変して13年はあつたけれども、29年の場合はなくなっているなり、高校の中で科の再編というのは多分行っていると思うので、そこも調べないと、13年と29年で同じ科が存在しているかどうかというのはわからない。

**【高橋（雅）労働者委員】**

例えば宮城県水産高校、食品、調理師の学科ができました。そこから去年か今年、船員となった方がいると思います。そういうものもあるので検討したほうがいいと思います。

**【柳田船員労政課長】**

そうですね。本省に報告する調査とまた別の調査をしないと、できない数字になってくるとは思いますが、検討してみたいと思います。

別に調査をかける場合、過去何年度分ではなくても、仕切り直して単年度分からの表という格好でお示しすることになるかもしれませんけれども。

**【高橋（真）部会長】**

十何年は要らないのではないですか。水産系の学校から何人ぐらい船員になっているかというのが知りたいわけですよ。それを多分13年というスパンは要らなくて、5年なら5年ぐらいでやったほうがいいのではないか。学校自体がしょ

つちゅう学科を再編していて動いているし、あと進路先も多分変わっていると思う。だから、逆に十何年になると科がなくなったらどうしようという話になる。

**【柳田船員労政課長】**

実際に途中から数字が入っていない学校などもある。海洋系の学科がなくなっただからということで。

**【高橋（真） 部会長】**

気仙沼向洋も元々、気仙沼水産だったのが向洋になって、普通科を入れて男女共学にして云々ということがあるわけだから、純粹に宮城県で残っているのは宮水だけなので。だから、多分5年ぐらいでもいいのではないかと思います。

**【柳田船員労政課長】**

はい、それでは、相対的に考えて新しい数字をつくる必要があってそれをお示ししたい。

**【高橋（真） 部会長】**

なるべく実態が把握できるような形で、今どうなっているかというのが見られればいい話なので。その辺の工夫をお願いします。

**【柳田船員労政課長】**

はい。

**【増田部会長代理】**

水産高校以外の高校を出ても船員になるという道も全くないわけではないですよ。それを言い出すと何か高校との連携がだんだんよくわからなくなってきました。

**【柳田船員労政課長】**

全部拾うとなると、本当に普通高校から工業高校からということで全部入れてという形になるので。

**【高橋（真） 部会長】**

ないわけではないけれども。それを把握しようとする場合、東北にある全ての学校に出してもらうことになってくると、毎年5月に文科省に多分各学校が出すので、その資料をコピーして送ってもらうという作業をしなければいけない。そんなこと言ったら高校側から怒られる。

**【高橋（真） 部会長】**

多分それも1人か2人ぐらいです。1人か2人ぐらいのためにやっても、費用対効果で言うと全然意味がないかもしれないですね。

**【柳田船員労政課長】**

全然違う学校に行っているけれども、親父が船に乗っているから俺も乗るとい  
う、高校と関係ないところで就職する人はいっぱいいると思います。

**【高橋（真） 部会長】**

ありますね。多分かなりまれなケースだと思うので、全体の趨勢というのは変  
わらない。

**【高橋（雅） 労働者委員】**

船員教育機関から何人の生徒が、船員になったのかというところだけでいいの  
ではないかなとは思いますが。そもそも船員を育てる教育機関ですから、そこを基  
準にしていればそれでいいと思います。

**【佐々木公益委員】**

分子はその学校全体の数ということでしょうか。分母はそういう水産、船員養  
成の学科だけでも、分子というか、船員になった方というのは学校全体ですか。

**【柳田船員労政課長】**

海洋系の学科から何人就職しているかということです。

**【佐々木公益委員】**

よその学科からというのは、ここの数字に反映していないということですか。

**【高橋（真） 部会長】**

卒業者の数は要りますか。要は何人就職しているかという、実数が欲しいの  
ではないかと思えます。分母がそれほど意味はないのだとすると、実際のところ機  
関などの科に全員が最初から船員を希望している子たちが入っているかという  
と、そういう前提で話をしているわけですが、実際にはそうとは限らない。だとす  
ると、欲しいのは船員に就業した人たちの数と、あと、高校だと船員希望何人分の  
何人就職というのを行います。短期大学校はわかりませんが、進路指導部  
会というのがあって、そこで何人希望のうち何人就職というのを希望ごとにと  
るので、平成30年度の船員希望者は何名で、うち何名が就職したかという数を教  
えてくださいと言えば、それは出してくれますよ。

そのほうがかえって実態を把握できるかもしれない。

**【柳田船員労政課長】**

はい、検討してみたいと思います。

**【高橋（真） 部会長】**

ご検討お願いします。

そのほかありますか、今の資料8と9に対しての質問、ご意見等。

**【津田労働者委員】**

資料の1ページ目に通信がありますが、これから先通信科がなくなっていく学校もあると聞いております。通信についても含めた形で検討していただければ。

**【柳田船員労政課長】**

そうですね。実際通信科という科が残っているというのは少なく、情報何とか科になったりしているので、そこに船を想定していない子はいて、陸上の情報関係の就職を目指すというのと一緒に勉強している。

**【高橋（真） 部会長】**

船員希望何人で何人就職というふうに単純に聞いたほうがわかりやすいかもしれないです。よろしくをお願いします。

**【高橋（真） 部会長】**

資料に関しては以上のところで終わりにしまして、それでは次の情報提供に行きたいと思います。

まず労働者委員のほうから情報提供ありますでしょうか。

**【津田労働者委員】**

八戸の中型イカ釣り漁船の出漁について、5月6日に2隻の出港を初めとしまして、5月12日、14隻、5月16日に3隻、5月20日の4隻ということで、県外船3隻を含む23隻が出港いたしました。そのうち22隻がアカイカ漁への出漁、これは太平洋です。あと1隻については日本海側のスルメイカ漁に出漁しております。

あと、もう1点、5月24日、昨日ですけれども、東日本タグボートで新造船「八甲田」のお披露目がありました。新たな代替建造ということで、数十名の方々が見学に来ておまして、今日の新聞にも出たと思います。以上、情報提供といたします。

**【高橋（真） 部会長】**

ありがとうございます。そのほか労働者委員のほうから。高橋委員。

**【高橋（雅）労働者委員】**

津田委員から報告がありましたイカ釣り船のことですけれども、来月の6日に酒田から13隻ほど出港します。それで日本海の山和堆で、去年問題になりました北朝鮮の小型船に関してですが、今年20日に石川県の底引き網漁船が解禁になり、山和堆で操業してきて、その時点では北朝鮮の船はいませんでした。ただこれからイカの最盛期になりますので、そのころにはまた出てくるのではという心配があります。

あと、もう1点、来月18日ですけれども、今回で3回目になります東北地方の船員の教育機関と水産会社等との懇談会を開催します。運輸局からも出席のお願いをしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

**【高橋（真）部会長】**

よろしくお願ひします。

それでは、使用者委員のほうからお願ひします。

**【平岡使用者委員】**

内航海運のプライスリーダーである新日鉄住金が2018年度の内航運賃を約3%値上げしました。値上げは新日鉄と住金が合併した2012年の10月以降初めてで、新日鉄のころから数えると10年振りということです。値上げの一因としましては、備船料の値上げです。元請で子会社の日鉄住金物流が2018年度の備船料を総トン数199トン型で月50万円、総トン数499トン型で月30万円の値上げを既に決定しており、原資である運賃を親会社の新日鉄住金に要求しておりました。

備船料の値上げの要因としましては、船員不足による船員費の高騰です。ドライバー不足によるヤマト運輸の値上げはご承知のとおりですけれども、今度JR貨物も今年の10月から鉄道運賃を三十数年振りで10%値上げすることを決定しております。これを機会に内航運賃が適正化することを期待したいなと思っております。

**【高橋（真）部会長】**

ありがとうございます。白幡委員でございますか。

**【白幡使用者委員】**

この間、八戸で川崎近海汽船のシルバーティアラのお披露目がございます、

来月、宮古・室蘭航路開設ということで、先般八戸の支店長とお話することがあり、予約状況どうなのかと話したら、人はまずまず、ほぼいっぱい埋まっていると。カーフェリーなので車の需要がないとちょっとだめなのだけれど、初日は満席だと。ただ、それ以降は相当苦戦が予想され、恐らくアクセス道が全線開通になっていないという部分を含めれば、数年はつらいかなということはおっしゃっておいりました。本当にせつかくの航路開設なので、営業的に頑張ってください、船の航路がなくならないような状況になればいいなと思っておいりました。以上でございます。

**【高橋（真） 部会長】**

今、両使用者からいろいろと情報提供いただきました。ありがとうございます。ほかにありますでしょうか。

では、ないようですので本日の議事は終了になります。

次回の船員部会は6月22日金曜日の13時30分から、会場はここ、4階会議室で開催いたします。

◎閉会